

部 長

各事務局長

市 長

令和4年度予算編成について

少子高齢化の進行や、デジタル化・グローバル化を背景とした経済活動の拡大などにより、経済社会の構造変化が加速する中、我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にある。本市においても、度重なる緊急事態宣言に伴う公共施設等の休館やイベント等の中止・延期、不要不急の外出・移動の自粛などにより、市民の暮らしや事業者の経営に大きな影響が生じている。

こうしたことを踏まえ、我々は、地域の感染状況をしっかりと捉え、迅速かつ的確な感染症拡大防止対策を講じ、社会経済活動の回復を図りながら、誰もが安心して暮らせる活力ある地域社会の実現につなげていかなければならない。

また、現下の状況に伴う税収の減少や社会保障費の増加などにより、更なる財政の硬直化が懸念されることから、各部においては、限られた予算の中で最大の効果が得られるよう、今後の国の政策動向を十分に注視し、施策・事務事業評価の結果やサマーヒアリングでの議論などを踏まえながら、予算を編成されたい。

なお、令和4年度当初予算は、改選期にあたることから、継続費や債務負担行為解消に係るものを中心とした骨格予算を編成することとなるが、市民生活に影響が出ることが無いよう留意すること。